

令和3年9月13日

報道関係者各位

大阪府 茨木市

公園とスケートボードの新しい関係「花とスケーター」企画！
～禁止ではなく「できること」を増やしていく IBALAB@広場～

茨木市の IBALAB@広場（いばらぼひろば）（茨木市駅前四丁目7-50）で、“公共空間をよりよくする”“マナーを守って楽しく遊ぶ”の両方にスケーター自身が関わり、公共空間とスケートボードの新しい関係を模索する企画「花とスケーター」が始まっています。

オリンピックの影響もあり、一躍脚光を浴びているスケートボード。しかしながら、公園や広場などの公共空間では、騒音や施設の破損といった問題から、まだまだ「迷惑（危険）な遊び」といったイメージも強く、スケートボードパークなどを除き、行政とマナーを守らない一部のスケーターの間で「禁止」をめぐるいたちごっこが続いています。

こうした中始まった「花とスケーター」は、普段は広場を花や緑で彩るプランターとして使用し、裏返すとスケートボードのセクションとしても使えるボックスを、スケーター自身が作成し、管理や貸出にも関わることで、みんなで公共空間をより魅力あるものに作り上げていくという企画です。

IBALAB@広場は、市民と一緒に使いながら作っていく、「ハーフメイド」の空間として、また、禁止するだけではなく「どうしたらできるか」をみんなで一緒に考え実践し、できることを増やしていく広場として、ワークショップ等を行いながら運営しています。

この「花とスケーター」も、スケートボードを禁止にしてしまうのではなく、どうしたらできるかを市民が発案し、スケーターたちが木材を組み立て、寄せ植えを行うもので、公共空間でのスケートボード問題に対する面白いアプローチになるのではと期待しています。

【問合先】

市民会館跡地活用推進課長 向田明弘
担当 的場 理
電話：072-655-2757

